

校長だより

社会（地理歴史・公民）部会 神戸・阪神支部合同研究大会で得たもの

○10月20日（金）にアステ川西を会場として開かれた令和5年度兵庫県高等学校教育研究会社会（地理歴史・公民）部会神戸・阪神支部合同研究大会に参加しました。

○今年度の研究大会のテーマ「日本史・世界史探究の授業づくり」のもと、3人の教員の発表を聞くことができました。その中で生徒の学力を引き出すことができる授業づくりのヒントを得ることができましたので紹介します。

■授業の中で探究的な学びの進め方

①単元を貫く問いを立てる。②これまで得た知識を組み合わせ、根拠を持って問いに答える。例 問い：平氏政権が台頭した要因を重要なものの順に並び変えよう。

取組：各グループが重要だと考える要因の順に並べる。→並べた結果について根拠に基づいて発表する。

■探究的な学びは、各科目で学期に2回程度でよい。=いくつかの科目がこのペースで探究的な学びをすれば、月2～3回のペースで生徒は、探究的な学びが可能となる。これにより、「探究的な学びは、教員の負担が大きい。授業進度が遅れてしまう。」といった問題を解決できる。

■グループワークの効果的な進め方

グループの人数：40人のクラスでは、5人1組＝8グループ程度がよい。フリーライダー（グループ学習に参加しない生徒）を生み出さない工夫が必要。①各グループにホワイトボード（A2版）を配付する。②司会、記録各1名、それ以外の生徒が発表する。発表後は、次のグループの発表時に前のグループが必ず質問する。

■ICT活用時の注意点 ①効果的なパワーポイントの作成のヒント 短い効果音を入れることによって生徒を集中させることができる。②生徒にネット等を活用して調べさせるときの注意点 事前にサイトを紹介する、「wikipedia」、「YAHOO!知恵袋」などは使わない、といった指示をする。また教師サイドで事前に資料を作成したり、ダウンロードしておく。



2校3人の教員に各自の授業実践を発表してもらいました。

第48回体育大会を実施しました

○9月29日（金）、快晴の空のもと、第48回体育大会を実施しました。今年度の体育大会は、伝統の3年生によるフォークダンスが、復活し、また保護者の方々の来校を制限もしない形での実施しました。

○競技に臨む生徒は、精一杯力を出し、またそれらを応援する生徒

の声援が響いた、1日となりました。体育大会では、生徒会の皆さん、各部活動に所属する部員の皆さんが役員として、運営にあたってくれました。またPTA役員の方々に、来校者の受付、生徒への飲料水の配付などをしていただきました。体育大会を支えてくださったすべての方々に感謝申し上げます。



全校生徒による入場行進で体育大会は始まりました。



綱引きでは、同学年の生徒も一緒になって応援していました。

哲学者小川仁志氏を招き、文化講演会を実施しました

○9月20日（水）哲学者で山口大学教授の小川仁志氏が、本校に来校し、全校生を対象に講演をしていただきました。小川氏は、20代で人生に迷い、出口が見いだせないまま、引きこもり生活を始めます。しかしそこで哲学と出会い、闇から抜け出すことに成功します。小川氏は、本校の生徒たちに自らの体験を踏まえ、自分の枠（ワク）を超えたところに新たな生き方（ワク）をつくる、「ワクワク」した生き方の大切さを熱く語っていただきました。